

事業実績書

事業名	興国寺城研究会	
場所	沼津市浮島地区	
期間	7年9月16日～8年3月31日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	毎月第3金曜日	定例会 目標・予定・行事の手順・役割り分担等確認・学習会
	9・19	流しそうめん準備・作業日程・役割り分担決める・・・資料1
	10・10	小・中学校訪問 趣旨説明・中学校浮島クラブボランティア要請
	11・3	興国寺城会場草刈り・小川の整備、掘り抜き井戸掃除
	11・5	流しそうめんのため、竹樋制作・設置 ゆでそうめん手順確認 材料買い出し 鍋・釜等資材・テント・机・椅子借用（地区センター・環境保全推進会）
	11・8	会場設営ガス器具設置 茹でそうめんづくり 10時開始 中学生ボランティアそうめんを流すのを担当 一般参加の小中学生は、竹樋ののこりでマイ箸づくりして、流れてくるそうめんをすくう。 片付け修了2時30分 89人来場
	12・7	旧渡辺邸竹林整理 枯れて倒れた竹、混み合った竹を切り出して、粉碎機で処理。広場の草刈り
	2・27	興国寺城についての勉強会 講師 木村学芸員
	3・15	旧渡辺邸竹林整理 枯れた竹、間伐
	3・30	浮島中学校で、小・中学生を中心に地域住民に「浮島むかしむかし」と題し、地域の郷土史研究家森とき英氏を講師に、浮島小学校に昭和初めころ「鉄道唱歌」の曲に合わせた「郷土のうた」というのが残っており、各町内の名所旧跡を織り込んでいるので、みんなで合唱しながら、講話を聞いた。・・・資料2
事業効果	<p>安穏と暮らしていると、地域の文化や風景、まして遺跡などに対する関心が薄い。さらにコロナから以後地域行事も激減し、子ども達への伝承も少なくなった。私たちの地域にはすばらしい遺跡がある。有ることは皆知っているがその歴史的背景には疎い。研究会では興国寺城に関心を持ってもらうために早雲寺殿二十一箇条を参考に「わたしの五箇条の戒め」を中学生につくってもらった。今の若い者は・・・悪い意味で使われることが多いが、わが浮島生は立派の一言。資料3・4</p> <p>本年度の流しそうめんは、竹樋のつくり方の手順・そうめんを茹でてから、みなさんに供する手順の確認のため地元の人達の参加だけにした。それでも100名近いお客さんのお腹を満たすことが出来た。自信を持って来年度から計画できそうである。</p> <p>旧渡辺邸竹林整備については当会が専属で管理すること無理（市文化財見解）であるので、整理・再生計画は再考を余儀なくされているが、令和8年4月12日（日）に予定しているタケノコ掘り体験は実施する。</p>	
自己評価	<p>出来ることから始めようと設立した「興国寺城研究会」は一年の計画が終わった。中学校の協力で全校生徒に我が家の家訓・戒めの言葉5訓を作ってもらったことは大きな収穫あった。まとめたものを地区センターに掲示し、活動を多くの人に知らしめた。</p> <p>浮島クラブは、生徒が地域学習について仮題をもち、地域行事に積極的に参加している。また彼らは浮島地区の自然を短歌に詠み、それを基に白井貴子さんの作曲のうたを持っている。彼らの活動はその「浮島のうた」をさらに厚みを重ねている。その手助けは大きい、と自負している。</p> <p>どうしたら会員の裾野を広げられるか、新陳代謝をどう図るか。重い課題である。小中学生に知的好奇心を持たせ、親子で浮島の歴史、自然のすばらしさを共有させたい。その為の仕掛けをこれからも計画していきたい。その核を興国寺城と浮島の自然・文化から探り出していきたい。</p>	
今後の活用予定	<p>令和8年度も事業は継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> * タケノコ掘り体験とタケノコのこの天麩羅。野草の天麩羅の試食 * 興国寺城社整備事業策定について勉強会 市より関係者を招聘 * 興国寺城社見学会 市学芸員招聘 * 浮島の文化講演会 * 流しそうめん * 浮島茶試飲会 * 竹林整備 * 夏休み興国寺社で遊ぼう トンボとり大会・植物観察・竹とんぼなどを計画し、親子での参加を奨励 * 会員募集に知恵を絞る。 * 市関係機関、文化財と一層の意見交換、助言、交流を深める。 	